

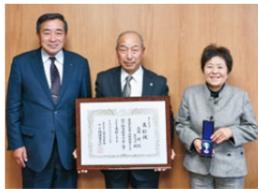
営農振興

農事功績表彰で緑白綬有功章を受章!

大日本農会が主催する平成30年度農事功績表彰の複合部門で、西和賀町でやまに農産(株)を経営する高橋明さん・医久子さん夫妻と、遠野市で民宿「MI LK-INN江川」を経営する江川幸男さんが緑白綬有功章を受章しました。

◆高橋明さん・医久子さん夫妻

やまに農産(株)は、水稲や野菜、苗物の生産のほか、同町の特産品であるワラビを利用した農産加工、観光農園を取り入れた複合経営を行っています。特にワラビの加工に力を入れ、明さんが考案した「澱粉濾過精製機」でわらび粉を製造。医久さんは、町内の菓子店3店舗と「わらび餅の里づくり協議会」を設立し、わらび粉100%のわらび餅を商品化するなど、地域農業に大きく貢献しました。



11月20日には本店(花巻市野田)を訪れ、島津秀三郎専務に受章を報告。明さんは「受章を励みに、さらに地域農業を守りたい。今後もJAと連携し頑張りたい」と話しました。

◆江川幸男さん

江川さんは、酪農を経営の柱として原木きのこや山菜の生産・販売のほか、農家民宿やどぶろくの製造・販売を組み合わせた経営の多角化で、山間地域におけるアグリビジネスモデルを実現しています。特にどぶろくの製造に力を入れ、市と連携して「どぶろく特区」認定に尽力するなど、地域資源を生かした多角的な活動により、地域の農林業の発展に貢献しました。

園芸

西南アスパラガス部会設立40周年



北上地域西南アスパラガス部会は、設立から40周年を迎えました。同部会は、昭和51年に農家4戸でホワイトアスパラガス4.2haを栽培したのが始まり。平成元年度には初めて販売額が1億円を超え、23年度から25年度も1億円を超えましたが、農家の高齢化や農地集積により作付面積・農家数ともに年々減少。今年度は65戸が栽培し、販売額約5377万円となりました。

11月29日には、ふるさと体験館「北上」(北上市和賀町)で記念式典を開催。部会員やJA職員など約60人が参加し、佐藤祥行部会長は「親から代替わりしている人がいる事をチャンスととらえ、部会一丸となって販売額1億円の復活を目指す」と力強くあいさつしました。

畜産

研修会を開催し、同世代と交流

肉牛繁殖生産部会花巻支部青年部と矢巾町和牛改良協会青年部は11月22日、矢巾町にある農家で研修会を開きました。



研修会は、各青年部の代表同士が友人だったことがきっかけで3年前から始まりました。一昨年は花巻市の農家2戸、昨年は遠野市の農家1戸の越冬放牧を視察。今年、JA全農いわての職員も参加して矢巾町内にある農家4戸を視察し、牛舎の造りや飼養管理などについて情報交換を行いました。

営農部畜産販売課の高橋勉課長補佐は「同世代同士の交流を図る機会があまりないため良い取り組みだと思う。今後もこのような取り組みを続けていく」と話しました。

園芸

遠野地域野菜生産部会27年ぶりにピーマン販売額1億円達成!

遠野地域野菜生産部会は11月30日、遠野市のウェディングパレス道で「ピーマン販売額1億円達成大会」を開きました。生産者やJA、行政機関、市場担当者など約100人が出席。平成30年度優良生産者表彰として、販売額・1本当たり収量の2部門で表彰を行いました。「大会宣言」では、産地拡大に努めることなどを宣言し、参加者全員で頑張ろう三唱を行いました。

遠野地域野菜生産部会ピーマン専門部の菊池由雄部長は「1億円達成までに月日はかかったが、達成することができてよかった。今年度は、単価高だけでなく出荷量も増えたことが良かった。遠野地域として産地化を目指し、今以上に突き進みたい」と力強く話しました。

◆これまでの歴史

- 昭和53年：ピーマン栽培開始
- 昭和62年：遠野地域ピーマン選果場完成
- 平成3年：ピーマン販売額1億円突破
- 平成10年：トンネル栽培を導入
- 平成18年：高齢化、天候不順、単価低迷

平成26年：石鳥谷園芸センターへ一元集約
平成30年：27年ぶりに1億円販売額達成

今年度は生産者79人が栽培面積5.9haで栽培し、出荷量307t、販売額約1億4000万円となりました。

～大会宣言～

「楽しく・続ける・産地」を合言葉に新たな販売目標達成を目指します。

- ・新規・若手生産者の育成に地域一体となって取り組み産地拡大に努めます。
- ・栽培技術の習得に努め反収向上に努めます。
- ・専門部活動に積極的に参加し仲間づくりをします。
- ・2021年の販売目標額を「1億1000万円」を超える、販売額を目指します。



米穀

農家組合法人なべくら 各コンクールで堂々の受賞

花巻市の農事組合法人なべくらの藤井勇幸さんが岩手県が主催する第2回「銀河のしずく」頂上コンテストで第3位を受賞し、同法人の高橋光精さんが米・食味鑑定士協会が主催する第20回米・食味分析鑑定コンクールの都道府県代表お米選手権で特別賞を受賞しました。

12月4日に藤井さんと高橋さん、同法人の高橋春雄代表が阿部勝昭組合長に受賞を報告しました。

◆第2回「銀河のしずく」頂上コンテスト

岩手県やJA全農いわてなどが開き、生産者の意欲向上を図ろうと昨年から始まりました。県内で栽培する490経営体や栽培適地内で農業教育を行う高等学校などの中から、56点が出品。測定機を使った審査で10点に絞られた後、食味試験で特に評価の高い上位4点が選抜されました。11月19日に北上市で開かれた最終審査では、米穀関係者や調理師などの5人が外観(白さ、ツヤ)、香り、味、粘り、硬さなどを総合評価。審査の結果、藤井さんが第3位のいわて純情米需要拡大推進協議会長賞を獲得しました。藤井さんは「賞を頂けて光栄に思う。更に上を目指し頑張りたい」と話しました。



◆第20回米・食味分析鑑定コンクール

米・食味鑑定士協会や飛騨地域実行委員会などが開いた食味を重視した国内最大のコンクール。世界各地から5717点が出品され、測定機を使った審査を通った各部門の代表者130人が最終審査に進み、官能(食味)審査を30人の審査員が行いました。審査の結果、高橋さんが出品した「ひとめぼれ」が、岩手県で1番を獲得しました。高橋さんは「うちの米はうまいと自信をもって言える。今後も今まで通り頑張りたい」と話し、高橋代表は「法人のメンバーが賞を頂けて嬉しい。これもJAの営農指導員の指導のおかげだと思う。今後もレベルが上がるように頑張りたい」と話しました。

各グリーンセンター定休日

1・2月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに、2月28日(木)が第4四半期決算棚卸しのため全店舗休業します。

	1月の定休日	2月の定休日	営業時間
花巻	1/5(土)・日・祝日	日・祝日	8:30~17:00
石鳥谷	1/12(土)・1/26(土)	2/9(土)・2/23(土)	
大迫	土・日・祝日	土・日・祝日	
東和	1/5(土)・1/19(土)	2/2(土)・2/16(土)	
北上	1/13(日)・1/27(日)	2/10(日)・2/24(日)	
西和賀	土・日・祝日	土・日・祝日	
遠野	1/12(土)・1/26(土)	2/9(土)・2/23(土)	

●お問い合わせ先：営農部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで